



上越教育大学附属中学校

研究たより

平成 29 年 6 月 2 日

上越教育大学附属中学校
研究主任 鴨井 淳一

平成 29 年度の研究概要，公開授業，研究協議会日程についてお知らせいたします。

1 研究主題と研究仮説，6つの資質・能力（アビリティ）について

文部科学省研究開発学校指定

研究主題 持続可能な社会を創造し，自己を確立できる生徒の育成（第3年次）



地域間格差，少子高齢化，産業やサービス業におけるロボットの代替など社会構造が著しく変化してきています。科学技術の発展と共に成熟し，安定した社会が今後も維持され，さらなる発展を遂げていくためには，負の生産を克服し，乗り越えるためのアイデアを創造できる人材が必要です。そして，その人材は国内外を問わず，求められています。また，近年のネット市場の拡大や外国人観光客の増加に伴い，客層が広がり対応が求められています。一方，世界では，地球温暖化問題や国際紛争などの解決へ向け，各国の利害を越えた国際協調の必要性が一層求められています。

これらの喫緊の課題だけではなく，グローバル化のさらなる加速によって，今後新たに生じる難題に対して，地域や国内，国外にも広く目を向け，多様な他者と共に協働していく視点をなくして，解決は望めない状況にあるといえます。

当校では，「これからの社会を創造し，様々な変化が起こる時代だからこそ人としての在り方を重視し，歩むべき正しい道を自ら切り拓く人材」の育成が急務であると捉えています。そこで，上記の研究主題を設定し，研究仮説を次のようにしました。

研究仮説

「グローバル人材育成科」を新設し，各教科と両輪でアビリティを育成する教育課程を編成することで，「持続可能な社会を創造し，自己を確立できる生徒」を育むことができる。

研究主題の生徒（人材）を「グローバル人材」と捉え，6つの資質・能力をあらゆる場面で発揮できる人材と同義としました。6つの資質・能力は，「持続可能な開発のための教育（ESD）の更なる推進に向けて」日本ユネスコ国内委員会小委員会ESD特別分科会（2015年8月），「教育課程企画特別部会論点整理」文部科学省（2015年8月）等において提唱されている資質・能力と，当校のこれまでの研究成果，本研究の研究主題との照合から整理し，アビリティと名付けました。

そして、「アビリティを育成すること」は、「アビリティ育成の素地となる『スキル』を向上させること」であると捉え直したものが以下の表になります。新設のグローバル人材育成科と各教科の両輪でアビリティの育成を目指すことが、この研究の具体的な実践になります。

アビリティ	アビリティについて	アビリティ育成の素地となる『スキル』
情報統合力	課題や目的に応じて、必要な情報を集め、まとめる力	情報収集 情報整理
代替思考力	課題の問題点や物事の本質を捉え直す力	思考拡散 比較検討 思考収束
企画創造力	周囲の状況や動向を予測しながら、みんなのためになる活動を創り出す力	目標設定 手段構築
主体的実践力	内容や活動を調整しながら率先して行動する力	渉外調整 準備試行 役割遂行
コミュニケーション力	情報を受信したり、発信したりしながら、様々な考えや意見を認め合い、人やものとの関係を広げる力	相互理解 礼儀作法 即応思考 情報発信
コラボレーション力	進んで協力し合いながら、互いの目的を達成する力	協働創造 互恵行動

※「アビリティ育成の素地となる『スキル』」は、単なる技能的スキルではなく、態度や情意等を含むものです。以下『スキル』と記載します。

2 グローバル人材育成科について

グローバル人材育成科は、3つの時間から成り、それぞれの時間に育成目標とするアビリティを配分し、トレーニングする場と実践する場（『スキル』を向上させるコンテンツの実践）に分けて『スキル』の向上を目指します。3つの時間で展開する3年間のシラバスを10のステージに分割し、それぞれのステージに学びのテーマと『スキル』を向上させるコンテンツを設定しました。

分野	アビリティ	トレーニング（例）	コンテンツの実践（例）
課題討論の時間	情報統合力	・話し合いのルール、ツール 【情報収集】	ステージ1：1年生4月～6月 テーマ：よりよくなる① ・観桜会おもてなしプロジェクト 【情報収集】【情報整理】【目標設定】
	代替思考力	・ワールドカフェを活用したグループでの話し合い 【情報整理】【思考拡散】【思考収束】	
企画創造の時間	企画創造力	・企画会議 【目標設定】【手段構築】【渉外調整】	ステージ4：1年生1月～2年生4月 テーマ：「おもてなし」を考える ・本町商店街お手伝いプロジェクト 【思考拡散】【思考収束】
	主体的実践力	・役割分担会議 【手段構築】【役割遂行】	
グローバルコミュニケーションの時間	コミュニケーション力	・敬語表現、場に応じた言葉遣い、ビジネスマナー 【即応思考】【礼儀作法】	ステージ7：2年生12月～3月 テーマ：平和を考える ・修学旅行 【渉外調整】【相互理解】【互恵行動】
	コラボレーション力	・英語ディベート 【相互理解】【即応思考】	

3 各教科について

各教科では、今までになかったような新しい学習活動を設定するのではなく、これまでの学習活動をアビリティ育成の視点から見直していき、ねらいに迫ります。第2年次はこれまでの学習活動がどのようにアビリティ育成（『スキル』の向上）に関連しているのかを各教科で分析し、年間指導計画を加筆修正しました。また、教科によって関連するアビリティに傾向が見られることも分かってきました。第3年次は、このアビリティ育成を授業改善の視点とすることで、より一層教科本来のねらいに迫ることができるという仮説で、授業実践を進めていきます。6月、7月の公開授業は、次のとおりです。

各教科の授業を下記の日程で上越地区の先生方、保護者の皆様に公開します。

※なお、グローバル人材育成科の授業公開はありません。10月の研究協議会で公開します。

【国語】 小出 信也 6月28日(水) 5限	3年1組 有力とされる仮説の正しさを証明せよ！～トランプの起源を探り、その内容を文章にまとめよう～ これまでに学んだ論理の展開の仕方を活用し、複数の仮説の中から有力とされる仮説の正しさを証明します。
【社会】 岩野 学 6月12日(月) 2限	2年3組 世界の諸地域 ヨーロッパ州 ～Brexitの原因を探る～ 多様な国際統計を適切に扱って、EUの成果と課題やイギリスのEU離脱の原因を追究します。
【数学】 青柳 潤 6月29日(木) 5限	1年2組 自動販売機の売り上げアップ大作戦 ～ビッグデータを整理・分析しよう～ 自動販売機の売り上げデータを整理し、そこから利用者の傾向を分析して、よりよい商品ラインナップを考えます。
【理科】 上坂 知大 7月12日(水) 2限	3年2組 ボルタを超える ～偉大な発明・電池に改良を加えよう～ ボルタ電池から化学電池の仕組みを学び、自作電池でタブレット端末の充電を試みます。
【音楽】 岩澤 正顕 6月28日(水) 5限	3年3組 映像のイメージを旋律で伝える ～構成を工夫した旋律の創作～ 反復や変化などの構成を工夫して、映像のイメージを聴き手に効果的に伝えるための旋律を創作します。
【美術】 寺田 寛 6月27日(火) 3限	2年3組 心でとらえたイメージ ～音楽のイメージを形や色で表そう～ 音楽のイメージを心で捉え、モダンテクニックを用いて形や色彩を工夫して表します。
【保健体育】 渡邊 孝弘 6月22日(木) 3限	1年1組 Step マット運動 ～新しい技に挑戦し、目標とする動きに迫ろう～ 新しい技に対して、段階的に技能を高めて挑戦します。互いに『Coaching』する場面がポイントです。
【技術】 市村 尚史 6月20日(火) 5限	1年3組 理想的な花置台を考える ～条件から折り合いをつけて、最適解を求めよう～ 花置台の条件に適した材料と加工方法を、生徒自ら作成した資料で選択します。
【英語】 内藤 雅代 7月3日(月) 5限	2年1組 Keep talking in that situation! ～スキット実演を通して、対話のつなぎ方を学ぼう～ 対話の流れを複数イメージし、思考ツールを用いて、即興で対話をつなげていきます。
【道徳】 佐藤 直己 6月27日(火) 5限	2年2組 私の優先順位は… ～多様な価値観の中から私が決めたこと～ 将来の職業選択の基準について、仲間と価値観をぶつけながら話し合いをし、考えを深めていきます。

※事前の参観申込は必要ありません。

授業時間は
 です。

当校第2特別棟玄関からお入りください。

ご不明な点がございましたら、附属中学校：鴨井までお問い合わせください。(025-523-5313)

4 研究協議会の御案内

平成29年度 教育研究協議会

期日：平成29年10月16日(月) 9:00～16:30

内容：全体会・公開授業(各教科・グローバル人材育成科)・教科等協議会・講演会

対談 テーマ「グローバル社会への準備 -持続可能性の教育を深化する- (仮)」

- ・多田 孝志 様 (金沢学院大学教授)
- ・諏訪 哲郎 様 (学習院大学教授)

上越教育大学附属中学校へのアクセス

附属中学校への順路

- ◆妙高はねうまライン「高田駅」から、徒歩 15 分。
- ◆妙高はねうまライン「高田駅」から、タクシーで約 5 分。
- ◆信越本線「直江津駅」から、タクシーで約 20 分。



ランドマークの説明

- 1 通路が細くなっております。交互通行にご注意ください。
- 2 車でお越しの際は、こちらにご駐車ください。
- 3 地域振興局側からの出入はできませんので、ご注意ください。



〒943-0835

住所：新潟県上越市本城町6-2

電話：025-523-5313

E-mail: kenkyujh@juen.ac.jp